

2007 年前期 三浦担当の専門教育科目:評価項目の提示

3 セメスター(2 年次生)

● 心理統計法

定期試験を受験したことが成績評価対象となる最低条件である。

評価基準は、下記の通り。

定期試験の得点については、問い合わせがあれば個別に開示する。

A) 毎回の確認テスト

全回の合計点数をテスト回数で割り、10 をかけたものを指標とする

欠席の場合は、正当な理由が書かれた書類が最終講義日(7/19)の補習講義終了時まで提出されている場合のみ、欠席回の確認テストにおける参加者の平均点で欠損値を埋め、上記計算をおこなう

B) 定期試験

130 点満点とし、100 点以上の得点はすべて 100 点とする

- A と B のうち、より高得点の方に 0.6 をかけ、より低得点の方に 0.4 をかけて、両者を合計し、100 点満点で最終得点を算出する
- 最終得点が 60 点以上の受講者に、単位を与える。総得点が 60 点未満の場合は、単位を与えない

● 人間心理学基礎演習

プレゼンテーションをおこなったことが成績評価対象となる最低条件である。

プレゼンテーション内容に、出席状況と毎回のコメントの内容を加味して総合的に評価した。

5 セメスター(3 年次生)

● 対人心理学 I

定期試験を受験したことが成績評価対象となる最低条件である。

評価基準は、下記の通り。

定期試験の得点については、問い合わせがあれば個別に開示する。

- | | |
|-----------------|------|
| ● 定期試験 | 60 点 |
| ● 毎回の復習テストの成績 | 20 点 |
| ● 大福帳の内容(講義の要約) | 15 点 |
| ● 出席 | 5 点 |

● 専攻演習 II

プレゼンテーションをおこなったことが成績評価対象となる最低条件である。

プレゼンテーション内容に、出席状況と毎回のコメントの内容を加味して総合的に評価した。

● 社会心理学実習 I

最終レポートを提出したことが成績評価対象となる最低条件である。

最終・実習中の課題レポートの内容に、出席状況と実習中の参加態度を加味して総合的に評価した。